

五才児に見られたフラスカラーと保育について

— 社会成熟度診断検査についての考察 —

赤坂 宣子 佐野 栄子  
寺井 敬子 桂島 いく子

神田寺幼稚園

1. 目的 わが園で過去2年間実施した社会成熟度診断検査をまとめ社会成熟度診断検査の全国平均とを比較し、その差の原因を考察、これからの保育に少しでも役立つことができればということで研究を進めてきた。

2. 対象 44年度 五才児クラス  
1組 男21名 女14名 2組 男22名 女15名  
45年度 五才児クラス  
1組 男14名 女16名 2組 男15名 女16名  
計138名である。\*

4. 資料 社会成熟度診断検査の各問題の通過率

※この1組と2組は3才児からの持ち上り編成に4才児の時に2年保育児が編入された2・3年保育の混合組が5才児に至つたものである。

3. 方法 在園中の昭和45年3月と昭和46年3月に調査を行ない親と教師に記入してもらい、その答のうち「できる」「できるだろう」の各問題の通過率を出し、全国平均の通過率と比較し、更に「できる」だけを取り出し、各問題の通過率の検討をした。

1組

	全 国 平 均	親		教 師					
		44年		45年		44年		45年	
		%	差	%	差	%	差	%	差
(4) 1. ひとりであるよりみなと一しょにゐることを楽しむ。	96.7	97.1	+0.4	79.5	-20.8	94.3	-2.4	96.6	-0.1
2. カクレンボや石けりなどの遊びに加わることが出来る。	97.4	97.1	-0.3	93.1	-4.3	94.3	-3.1	96.6	-0.8
3. おもちゃをゆすりあって使う	93.6	91.4	-2.2	96.6	+3.0	45.7	-47.9	100.0	+64.4
4. 友だちと一しょに ごっこ遊びが出来る。 (のりものごっこ、ままごと、お店ごっこなど)	99.6	97.1	-2.5	96.6	-3.0	97.1	-2.5	100.0	+0.4
5. カクレンボやブランコなどの遊びの規則や順番が守れる。	95.6	97.1	+1.5	96.6	+1.0	94.3	-1.3	100.0	+4.4
6. 遊び方について、友だちの話を静かに聞く。	92.3	82.9	-9.4	93.1	+0.8	54.3	-38.0	96.6	+4.3
7. 運動会の練習に喜んで参加する。	97.3	94.3	-3.0	93.1	+4.2	85.7	-11.6	100.0	+2.7
8. かけっこやゲームのとき人に勝とうとする。	92.0	91.4	-0.6	89.7	-2.3	74.3	-17.7	100.0	+8.0
9. 順番がくれば皆の前で話をしたり歌ったり出来る。	84.0	94.3	+10.3	96.6	+12.6	100.0	+16.0	100.0	+16.0
10. 学校(幼稚園)や家庭で行なわれる行事に進んで参加する。	92.3	88.6	-3.7	96.6	+4.3	88.6	-3.7	96.6	+4.3

参 加	11. 年上の人にあいさつができる。	70.7	88.6	+17.9	82.8	+12.1	65.7	-5.0	100.0	+29.3
	12. だれでも喜んで仲間に入れる	93.5	88.6	-4.9	93.1	-0.4	57.1	-36.4	93.1	-0.4
	13. 自分のものを友だちと一しょに使おうとする	91.9	94.3	+2.4	89.7	-2.2	31.4	-60.5	96.6	+4.7
	14. 他人のことに気がつきめんどうが見られる	77.2	71.4	-5.8	86.2	+9.0	34.3	-42.9	96.6	+19.4
	15. きめられた時間をだいたい守る。	84.8	80.0	-4.8	93.1	+8.3	85.7	+0.9	89.7	+4.9
	16. トランプ、カルタ、すごろく等の簡単なゲームができる。	87.8	100.0	+12.2	96.6	+8.4	97.1	+9.3	96.6	+8.8
	17. 遊びの規則や順番を人に教えることができる。	84.8	94.3	+9.5	89.7	+4.9	88.6	+3.8	93.1	+8.3
	18. 遊びのきまりをかえたり新しく作ったりする。	62.2	91.4	+29.2	69.0	+5.8	51.4	-10.8	69.0	+6.8
	19. ドッチボール、陣とりなどの遊びができる。	69.3	77.1	+7.8	65.5	-3.8	60.0	-7.3	93.1	+23.8
	20. 友だちと相談してスポーツや遠足の計画がたえられる。	37.5	51.4	+13.9	34.5	-2.9	28.6	-8.9	44.8	+7.3